

自己評価結果票

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1 ○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	当ホームの理念は「その人らしい安心のある生活を愛と笑顔で共に歩む」であり、ホームでの職員間や地域の民生委員様にも理念を通し共有している。		
2 ○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内での理念の掲示は勿論、会議や運営推進会議でも「その人らしい」を深く探求し、地域密着型サービスとして本人による人間関係の保持を重視している。		
3 ○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	理念に掲げている「その人らしい」とは本人による人間関係が不可欠と考え、「人間関係」とはそれまでのその人の関わり(行きつけの店や家族など)との結びつける家族及び地域との関わり的重要性を話し合っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4 ○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の運営推進会議で校区内の認知症を抱える家族様や介護予防窓口と機能させており、時間を設けず誰もが気軽に来所して頂けるように心がけております。また、ホーム前が近所の保育園の散歩道であり、その際に保育園児ともホームに入ってもらっています。		
5 ○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	今年度途中からのホームの開設により、準自治会員になっておりますが、地区定例会、夏祭り等の行事も誘って参加させていただき、来年度より自治会員として地区活動を行ってまいります。		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
6	○事業所の力を活かした地域貢献  利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議を通じ認知症高齢者について話し合っております。	○	守部定例会、自治会を通じ介護予防や認知症高齢者の理解や接し方について勉強会を開いていく予定です。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価は重要であり、職員全員も理解していますが、家族様の来所等の際の指摘や意見を聞き入れ、常に改善と日々の介護に活かしている。	○	外部評価は重要であり、それ以外にも尼崎市役所へ連絡し、介護相談員の受け入れを行い、客観的な視線から意見を聞き入れるよう行う。
8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を開催した、その月のカンファレンス時に職員全員に、運営推進会議での話を報告して、ケア、サービスの質の向上に役立てています。		
9	○市町との連携  事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームで、問題が生じた場合や事故が起こった場合には必ず報告書を提出し、対策の報告もさせて頂いき、質の向上に取り組んでおります。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	御入居様に、成年後見制度をご利用になられている方がおられます。地域での勉強会にも出席して、制度面では学んでいますが、なかなか難しいものがあると思います。少しでも深く理解し、活用できるように支援していきたいです。		
11	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	スタッフの虐待防止の為の精神的ケアは、管理者が必要と思われるスタッフには、すぐに聞き取りを行い、解決できる方法を一緒に考えていく。どのスタッフにおいても日常管理者が気を付けて、一定の時期をみて聞き取りをしています。		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得	契約時、契約書には専門用語がたくさん書かれていますが、解り易く説明させて頂き、その都度質問もきかせて頂いて、理解納得していただいています。その後も何か聞きにくい質問もありましたら電話のほか、また時間もとらせていただいて、説明させて頂いております。		
	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている			
13	○運営に関する利用者意見の反映	運営推進会議に地域包括支援センターの所長の方も出席くださり、ご家族様から入居されている様子や、感じられたことの意見を聞きとらせて頂き、管理者、職員に反映させて頂いております。ホーム内に相談窓口も設けさせて頂き言いやすい環境をつくらせて頂いております。		
	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	健康状態は毎月のお手紙で個別にお知らせしております。体調不良の時も必ず細かく報告させて頂いております。金銭管理は出納帳と領収書を月の末締めにご報告、ご家族様からご確認をして頂いております。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に地域包括支援センターの所長の方も出席くださり、ご家族様から入居されている様子や、感じられたことの意見を聞きとらせて頂き、管理者、職員に反映させて頂いております。ホーム内に相談窓口も設けさせて頂き言いやすい環境をつくらせて頂いております。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度以上の聞き取りを個別に全職員に行い、相談や意見をまとめて月の会議にだして反映させています。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	遠足、イベントなどにあわせて、柔軟に職員を増やしたりその時に応じて、対応しております。		

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
18 ○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	現在のところ、離職する職員は持病の関係では仕方無くありますが、必要最小限におさえておりますし他の理由では、特にありません。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 ○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員全員へ研修予定日用紙を回覧し、外部研修を受講できる機会を設けております。受講者はレポートの提出、また未受講者の職員へ報告・勉強会を行う機会を設けております。		
20 ○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	定期的に行う(尼崎)グループホーム部会へ参画し、同業者とネットワーク作りや連絡、また、部会を通じ各グループホームでの職員体験交換を行う取り組みをしている。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	年に数回の職員へのアンケートを実施し、個別での職員カンファを行っていく予定です。また、何かある際は随時間き取りを行い、対処しています。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	勤務予定表の作成には事前に希望休みを2日分聞いており、連休もできるだけ組めるように勤務表を作成している。また、向上心を持ってもらえるために必ず仕事への動機付けを説明し、自発的に結び付けるようにコーチングを行っている。		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	現状では、利用をする本人様は認知症があるためにご家族様からの相談がほとんどであります。本人様、家族様と面談し、その際に出来る限り本人様から経験、趣味等を聞き出し不安を取り除く努力をしております。		
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談があれば、家族様と面談を行い、利用者様の今までの経歴・性格等、また、現在の状況を聞き、そのニーズにこたえられるよう努力しております。		
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者が常に家族様とのコミュニティを重要視しており、良い事も悪い事もありのままに家族様へ報告して、ご家族様との信頼関係構築に努めております。		
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所される前の段階で入居される方の性格、生活の内容など、ご家族様を通して情報をいただいて、管理者、計画作成者、職員、ご家族様で話し合って御入居の日を迎えさせていただいております。声のかけかたなど早くご自分の居場所を作ってくださいスタッフとの信頼も早く築けるように、しております。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○利用者と共に過ごし支えあう関係  職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	ご利用者様同志のもめ事も、たまにありますが、うまくお互いの中に入り、喜怒哀楽を共に一緒に生活している事を忘れずに、支えあっている関係であります。		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
28	○利用者を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	ホームは、入居者様、ご家族様も共に巻き込んで職員も同じ立場でケアしていく考えであります。		
29	○利用者と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	管理者、職員はやはり、たくさん努力して、利用者様、ご家族様と良い関係を築いております。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	地域密着型サービスとして、ホームに入所されても地域の方や馴染みの関係と、途切れることのないように思い出の土地に、遠足にいたり、また手紙、電話の活用を考えて取り組んでおります。		
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ご利用者様同士、優しく声かけ等して頂けるように、まず職員同士たちが、優しくふれあい、御入居者様にもその雰囲気が、自然に流れるように努めております。場所的にもテーブルの他にゆっくりくつろぐために、利用者様同士の相性も加味しご入居者様の人数が座っていただけるソファもご用意しております。		
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所の形はさまざまですが、看取りのご家族様につきましては、その後の家族様のケアを含めて連絡を取らせていただいております。他の退所の方には、その後のご様子や連絡を取らせて頂いています。		

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活における、生活嗜好や、ご希望等はご家族や又、日常のコミュニケーションの中から把握するように努めている。また、お1人お1人満足度を叶えていくのは難しいですが、接し方では姿を変え思いを変えかわり	
34	○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御本人やご家族様以外でも、入居前の担当の介護支援専門員等からも情報は収集するようにしている。	
35	○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	お1人お1人の日常の生活習慣による1日の過ごし方からまた昼夜を問わず、心身の状況の変動に対し観察、把握するようにしている。それをふまえ各ご利用者さまに反映できるようカンファを行い実行し、結果を振り返ることを行っています。	
<b>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者様によっては、本人の意向を確実に確認する事が困難なこともあるがカンファレンスによる意見交換及び、情報交換により、課題抽出に活かされている。	
37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	更新時の見直しはむろんのこと、状況に特変が無い場合でも、半年ごとの定期的アセスメント、及びプランの見直しは行っている。	

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
38	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランは職員全員の意見や気づきを反映させながら優先順位を決め計画作成していますが、日々の介護業務の中でのケアプランの実行は計画作成担当者が率先模範をしながら他の職員と取り組んでいます。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援  利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	共同生活でありながらも在宅支援としての位置づけを、特徴とし、他の介護施設では実践できない個々に応じたサービスの提供や支援に努めている。		
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域密着型の特性を活かし、民生委員をはじめとする地域住民の交流に参加させていただくようにしている。		
41	○他のサービスの活用支援  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	在宅支援とはいえ、居住系のサービスの性質上、他のケアマネジャーや他の事業所との関わりは日常少ないが、入居問い合わせの際にあたっては常に介護支援相談員、担当医等との情報交換は行っている。		
42	○地域包括支援センターとの協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	当事業所扱いは地域密着で主催する連絡会などへお互いに企画し、情報を収集し入居者の支援につながる様になっている。		



項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
43 ○かかりつけ医の受診支援  利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ主治医とは24時間連絡体制をとりながら常に情報の共有を図っているまた入居者様の健康管理に努めている。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援  専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	御家族の希望また、必要に応じては、相談に応じ、物忘れ外来の受診への支援を行ってきました。		
45 ○看護職との協働  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日々の身体状況の把握により職員が気づいたり疑問に思ったことを、協力医院との連携を元に看護職員にも、随時協力して頂く体制をとっています。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働  利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した際も面会により状況把握また、入居者様にとって必要な医療行為(治療)が終了次第1日も早く当ホームに戻る事ができる様、主治医をはじめとし、必要に応じては理学療法士等の情報や、助言を医療機関から得るようにし、退院後の日常生活上の留意事項の把握につとめている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期についてはご家族、ご本人、医師、ホームの管理者、介護支援専門員(計画作成者)で、何度も話し合い、ケアに関係するスタッフ全員に方針を伝えています。ケアの方針を共有するため何度もカンファレンスの場も、設けています。	○	ターミナルにおいてのご本人の意思確認、及び自己決定が困難な場合がおおいのが、現状でありご本人の意向を確認する時期、タイミングに関しては今後の課題の一つと言え、今後検討して行きたいと思えます。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援  重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	連携医と常に連絡をとりながら、早い段階からご本人、ご家族との話し合い、説明、納得して頂き、その人らしい日々の暮らしを送って頂くため、適切なサポートをする。その方にあった支援を、その都度、職員とも検討しながら支援を行ってきた。これからも、もっとこまやかな支援をしていきたい。		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止  利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移り住まれる前に、情報提供やケア関係のスタッフに状況説明を行っています。ご家族様には移り住む前にはもちろんのこと、移り住んだ後にも、ご本人、ご家族または移り住まれた先のところまで、状況確認や困難な事柄の聞き取りまで、必要がある方は、させていただいております。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>				
50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者様、各自の人格や個性を理解、尊重し日々のプライベートな部分への配慮を行っている。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	個人の認知、理解力に応じ、自己選択、自己決定を尊重し、主体制を引き出せる様な援助を心がけています。		
52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様自身が望む一日の生活リズムを尊重し個々に応じた過ごし方を重視するよう心がけています。		
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	希望に応じ、当ホーム内で訪問美容を利用したり、または希望によっては地域の美容院を利用したりしています。		

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	本人の希望や選択を可能な範囲で実現した、食事の提供や、日常の調理、盛り付けにも、入居者様ができる範囲内で参加していただいております。		
55 ○利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	現在のところ、飲酒、たばこ等の希望者はおられません。食事に 대해서는 嗜好を尊重するようにしています。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の記録をつけ、排泄状況、排泄パターンを把握することにより、自立支援に向けてできるだけトイレでの排泄を促せるようにしています。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	18名、1人1人の希望にあわせるのは困難であるが、ある程度個々の希望を尊重しゆっくり入浴できるようにしています。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	体操や外出(買い物など)、その他の諸活動を促し白昼の活動化により、夜間は安眠につながるようし、また1時間毎の巡視により、睡眠の状況を把握している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自立支援を図るために、出来る事、出来そうなことについて、それらを促す様、日々のケアに心がけています。		


項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	18人の入居者様全員ではありませんが、買い物に行った際には、出来る方、サポートしながら出来る方には、レジでの精算をお願いするようにしています。		
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	それぞれの身体的状況を把握し可能な限り散歩や買い物等、日常的な外出は提供するようにしていますが、職員の見守り上、少人数単位(複数)での外出が多くなっています。		
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	近隣の外出とは別に年に数回遠出の外出も、年間行事に設けています。		
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様が希望されたりまた、季節に応じ、はがき郵便の発送など行っている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	御家族様が来所された際、希望や気がかりなことを、気軽に伝えられるように、面会時の声掛けを随時行っている。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	当ホームの職員は、、しっかり認識できるように、ホームでの研修等を行っています。		

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には常に鍵をかけていませんが、玄関については鍵をかけないことは、困難なことが多く、施錠は行っている。		
67 ○利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	所在の確認、及び居室で過ごされている場合の安否確認は昼夜を通し常に行っている。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	事故発生を防止するための個々に必要な物品はご家族様にも相談し理解して頂き居室や事務所での保管管理に努めております。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒に関しては個々の状況に応じ事故を回避手段を講じた、そのほかに関してはマニュアルを作成の上職員全員に周知するようにしています。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	かかりつけのドクター、看護師、薬剤師の先生方主催の勉強会を定期的開催して受講しています。	○	応急手当、初期対応の研修も定期的に入れていく予定をしています。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練、避難訓練を行った後も、日頃からすぐに動けるように避難の仕方を身につけ、昼夜を問わず緊急の場合でもご近所のご協力もお願いできるようにご理解を頂いております。		

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居時に、書面での説明をさせていただき、家族会の時にも、起こった事故の説明と、それに関する対策を、お話してその後も1人1人のご本人と、家族様との会話の中でも話し合わせていただいております。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>			
73 ○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々の観察と変動の把握に努め、早期発見対応するように努め、職員が互いに報告、申し送る事により、情報の共有を行っています。		
74 ○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	最新の薬情の把握と受信時の処方の変更は職員全員で随時、受診時の記録を周知する体制をとっています。		
75 ○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排尿チェックシートを用い、個々の排便状況の把握と水分摂取の管理を行うと同時に医療の連携により排便コントロールを行っています。。		
76 ○口腔内の清潔保持  口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	日常の口腔ケアの支援のほかに個々の必要に応じ、専門医による定期的な歯科受診を実地しております。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体調が個人の有する疾患に応じ、食事内容もそれに準じた物、量を提供しており。また水分量、食事摂取量の記録により把握しております。		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防マニュアルの作成と、職員各自がそれらを周知するようにし、日々の予防と早期対応を心がけております。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	個々に所有する飲食物の衛生管理も含め食材及び調理用具の衛生管理は行っております。また、検食も毎食とっています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関の扉は和風で、ガラス越しに中もよく見えています。少しですが、ご家族から頂いた、桃の花の植木鉢を置いたりしています。建物は和風建築で敷居が高くないように工夫されています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアー、廊下などの共有スペースは季節に応じた衣装や行事の際の写真をはったり入居者がなごめる空間作りに工夫を凝らしています。	○	当ホームには、吹き抜けの中庭があり、植栽等でなごめる空間を、作る予定であります。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアーにはテーブル、イスのほかにゆったりと座って頂けるソファを入居者のほとんどが座って頂けるように買い足しをしています。テレビを見たり、本を読んだりしていただいています。		

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居される前の住居と同じように、使いこんだダンス、三面鏡、イスなど、親しみなれた家具に囲まれて以前生活されてきた空間でゆっくりして頂けるように思っております。</p>		
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>毎朝の窓を開けての換気、乾燥時は加湿器を足して必要に応じてにおいに敏感なため、職員全員気を使っています。臨機応変に状況に応じて配慮しております。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>危機管理による安全と出来るだけ自立を目指しております。残存機能の維持、ADLの保持。</p>		
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>お1人お1人のケアプランやかかりつけ医との相談によりその人らしさを失うことのないように配慮するように心がけています。</p>		
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>入居前に育てておられてお花、木々などをベランダにお持ちになられ、入居者一同、職員も一緒に水やりを楽しんだり、新芽を見つけてみたり、花の種をとったりして楽しませていただいています。</p>		

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		事業所が示す、取り組みの成果 (該当する箇所の番号の前に○印をつける)
項	目	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		事業所が示す、取り組みの成果 (該当する箇所の番号の前に○印をつける)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input checked="" type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、活き活きと働いている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

◎地域、地元の方とのふれあい、かかわりを重点に考えています。◎不穏になり笑顔が見れなくなった場合職員がしっかり時間をとり、利用者様に対して向き合える時間をとる。◎ご家族様をも巻き込んで職員と一緒にケアしていく考えです。